

力いっぱい身体を動かし、最後まで粘り強く取り組む子

木下志津

はじめに

B子は、高等部入学当初粗雑な言動が多く、自己中心的な傾向が強かった。また、障害が軽度でありながら生活全般について学んでいないこと、未経験なことが多かった。最後までやり抜く経験も乏しく、自分の持っている力を出し切ることもできずにいた。そこで、社会参加が目前の高校生になったこの節目に、少しずつ負荷を大きくしながら力いっぱい身体を動かしたり最後までやり遂げたりする体験をさせることにより、協調性や根気強さ、基本的な生活習慣を身につけさせ、より豊かな社会参加ができるようにしたいと考え、以下のような実践を試みた。

1. プロフィール

(1) 生育歴

- ・昭和52年12月10日生。16歳2カ月 高等部1年（女）
- ・1～4歳まで母親と生活。知的障害のある母親による養育が十分でなかったため、一時的措置としてA子ども学園に入所。その後、母親の再婚や義父の入院、離婚に伴い各地の小学校を転々とし11歳でK母子寮に入る。T中学校の心身障害児学級を経て、本校高等部に入学。現在に至る。

(2) 諸検査による実態（平成5年5月実施）

- ・WISC-R 言語性 73 動作性 79 全検査 IQ73
- ・S-M社会生活能力検査 SQ 76.6 SA 11歳9カ月
身辺自立、自己統制に落ち込みが見られる。
- ・段階別教育内容表による実態

入学当初、身辺の処理などの基本的な生活習慣や礼儀マナーが身につけておらず、毎日、具体的な方法の指導や声かけなどを必要とした。現在、円型プロフィール上は広がりを示しているが、随時の声かけや指導者の存在が必要な段階であり、本当の力とはなっていない。

(3) 行動特性

- ・慣れた場であればリーダー的に活動し、自分の考えもはっきりと表現できる。
- ・ある程度の理解力があり、一度経験するとすぐにやり方を覚え実践できる力を持っている。
- ・苦しいこと、苦手なこと（特に身体を動かすこと）から逃げようとする傾向があり、すぐに泣いてごまかしたり、ふてたりするなどの甘えが目立つ。



内線 平成5年4月 ■ 高等部入学時から
外線 平成5年10月 10月までの変容

図1 段階別教育内容表による段階到達度

- ・障害の軽さに比べ、基本的な生活習慣や社会的な礼儀・マナーが身につけていない。
- ・自分の意に反することには耳を傾けず、排除しようとするため障害認識が進まない。

2. 取り組みの構想

(1) 指導仮説

個人目標 力いっぱい身体を動かし、最後まで粘り強く取り組む子

つけたい力

- ・ 苦しいこと、苦手なことから逃げ出さない強い精神力
- ・ 自分の持っている力を出し切ろうとする意欲
- ・ 友だちを思いやり、協力して物事を進めていこうとする態度
- ・ 身だしなみや清潔に気を配り、自分の手で実践していく力

——コミュニケーションに視点をあてた取り組み——

——コミュニケーションの目標——

相手の話を素直に聞き、場をわきまえて自己表現できる子

仮説 自分の意に反することは受け入れないB子は、自分の思うがままに行動しようとする。そこで苦手なこと、意に反する場面を意図的に設定しその中で必要とされる言動や他との協力、指導者の指示の理解と受容を繰り返し経験させる。このことによりどうすることが望ましいのかが分かり、その方法が体得できる。そして、人の話に耳を傾けたり、場をわきまえたりすることができるようになって考えた。このように、より良い人間関係を作りその中で他を意識しながら活動できるようになれば、苦手なことや中途半端で終わらせていたことにでも取り組みやすく、最後まで粘り強く活動できるようになるのではないかと考えた。

——その他の取り組み——

B子は、知的障害がある母親と二人暮らしのため生活経験が乏しい。生活一般や課題学習、日常生活の指導の時間などを利用して、生活に必要な事柄について具体的、継続的に指導を行って生活経験の拡大を図りたい。また、児童生徒会活動に積極的に参加させることによって、人のために働くことの意義や喜び、成就感を体得させ、自己中心的な生活から他を意識した生活へと変えていくことをねらいたい。

(2) 指導方針

- ① 高等部であることを常に意識させるような場の設定や、適切な声かけをする。その際、場を意識させるよう、行動の前には目的や意義を説明し取り組ませる。
- ② 目標を高くしたりノルマを課したりして、持っている力を出し切るよう導く。
- ③ 良くない言動に対しては毅然とした態度で接し、言い直しややり直しをさせる。
- ④ 好ましい言動に対しては十分に評価し「良くなりたい」「認められたい」という意欲を高める

3. 指導の実際

(1) 生活一般での実践

① ねらい

- ・今は何をすべき時なのかを考え、場に応じた対応ができるようになる。
- ・クラスの友だちとの関わりを大切にし、周囲を意識しながら活動する。

② 実践例

ここでは、継続的に取り組んでいる「買い物学習」や「公共機関の利用」などの校外学習での変容を述べてみたい。

初めの実態	方針と手だて	変容
<p>買い物をすることや各種申し込み書に記入するなどの技能的な面では特に問題はない。分からないことがあれば質問もできる。しかし、言葉の丁寧さに欠けたり、話しかけられてもうなずく程度であったりなど、人との関わり方に課題があった。また、周囲を気にせず大声で話したり笑ったりなど、マナーに欠けた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事後学習でビデオや話し合いなどによる自己評価をする時間を必ず持ち、自分の課題に気づかせる。 ・人と応答せざるをえない場面を意図的に設定する。この時、時間がかかっても声かけや補助はせず、自分の力でやり遂げさせるようにし、成就感を体感させる。このような場面を多く体験させることにより、自信を持たせていきたい。 	<p>ビデオや級友との話し合いから、言葉の丁寧さに欠けることに気づき、言葉遣いを直そうとする意識が出てきた。県立図書館では係員とのやりとりもスムーズに行えた。申し込みを済ませると静かに待つことができ以前のように周囲を気にせずに自分勝手な行動をとることも少なくなった。このように、緊張場面では場を意識した行動ができるようになり、実社会の人や教師などの大人との関わり方は良くなってきている。友だちとの関わり方はまだ十分でない。</p>

(2) 生活一般での実践

① ねらい

- ・身の回りの生活に必要な知識や方法を習得して、使いこなせるようになる。

② 実践例

生活一般の「学校紹介ビデオづくり」の単元を受けて、課題学習ではいろいろな人からの聞き取りや本、資料のまとめなどの取材活動を行っている。取材を通して、敬語や語彙の習得をはじめ、自分の思いを人に分かるように伝えたり全体をおおまかにつかんでまとめたりする力が養われると考える。

また、本生徒の「好ましい身だしなみ、清潔感の育成」という課題に直接アプローチする時間も確保し、洗濯やアイロンがけ、ボタンつけなどの学習を継続的にやっている。

ここでは、「取材ノートをまとめよう」という学習での実践を述べてみたい。



買い物をするB子

活動内容	方針と手だて	取り組みの様子
県立図書館、県民文化ホール（附属小・中学校跡地）についてまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・人に分かるようにまとめるとい目標を与え、目的意識を持って取り組ませる。 ・誤字は辞書を利用して自分で調べさせ、正しく書く力を育てる。 ・時間の終わりに生徒に分かりやすい言葉で評価を与え、課題に気づかせる。 	丁寧な字や長い文章を書くことは好まず、今まであまり取り組んでいない学習である。しかし学習内容が明確であるため取り組みやすく、何を書きあげたら良いのかを自分なりに考えたり、人が読むことを意識して丁寧な字で書こうとしたりした持っている資料だけでは分からないことは、直接図書館に電話をして質問した。敬語を使って自分の思いを伝えることができたが、話し方は一方的であった。

(3) 職業科での実践

① ねらい

- ・最後まで粘り強く、丁寧に作業に取り組む。
- ・仕事と遊びの区別をつけ、「働く」ことの意義を理解する。
- ・基本的な返事、報告、質問の仕方を身につける。

② 変容例

	コース別（農耕園芸班）	校内職業実習
4月	遅刻をしたり、少しの間でも座りこもるとするなど、意欲、態度とも今一步。ふてて指示に従わないこともあった。	「仕事」という意識がなく作業が大変雑で、不良品が多かった。失敗を隠したり、少し難しい作業だと泣いてしまうなどの態度が目立った。
11月	指示されたことはやり遂げようとする。質問、返事、報告もきちんとできるが、進んで取り組む態度は今一步である。	手早くしようという意識はあり、集中して作業した。丁寧さにはまだ欠け不良品が多いが、途中で投げ出すことはなかった。報告も良かった

4. 考察及び今後の課題

B子は設定された場で活動することにより自制心を養ったりより望ましい言動を身につけだした。しかし、友だちを思いやる心や人を敬う気持ちが言動として表れているのではなく、設定された場の中でパターンとして頭で理解し、使い分けている段階である。従って、緊張場面から一歩離れると心ない粗雑な言動に戻りやすい。一方、後期児童生徒会会長となり、人のために働くことの喜びや成就感を感じ始めている。この時期を逃さずより良い人間関係を作っていけるよう、検討を加えつつ現在の指導を継続していきたい。また、卒業後の具体的な生活を常に意識させ、本人自身が生きる力を身につけるよう指導していきたい。



牛乳パックを洗うB子